

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 慶信会 放課後等デイサービス じょうなんキッズ松山ベース		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントを丁寧に行い、一人ひとりの強みに対して適切な支援を行っています。	様々な特性の中から、一人ひとりの強みや課題を見つけるため、アセスメントを丁寧に行っています。構造化等の環境面からのアプローチを基本として、自ら意思表示ができるよう支援しています。	一人ひとりの特性に応じた環境を提供し、様々な場面で意思決定の選択ができるよう、今後も環境整備に取り組んでいきます。
2	医療的ケア対象児への支援に力を入れています。	看護師2名を常勤で配置しており、医療的ケア対象児とご家族が安心して利用できる体制を整えています。安全な中で、様々な活動への参加と経験ができるよう取り組んでいます。	今後も利用児数に応じた看護職員を配置し、新たな医療的ケア対象児の受入れと、サービスの質の向上を目指します。
3	障がい福祉サービスにおいて、様々な機能を持っています。	法人が様々な障がい福祉サービスを行っているため、専門的な視点から、将来を見据えた支援やアドバイスを行うことができます。	職員一人ひとりが自サービス以外の知識や技術を身に付けることで、利用児の選択肢を増やし、夢や希望の実現に繋がります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他の子どもとの交流や活動を行っていない。	対人関係における支援を必要としている利用児が多いため、個別や小グループでの経験を積んでいます。事業所での経験を学校で活かし、学校での成功を積み重ねた後に、地域の子ども達との交流へと段階を踏んで行ければと考えています。	実際に交流に向けての計画を立案して行く中で、交流可能な団体や場所や時間等、様々な課題が考えられます。一つひとつの場面を想定し、ロールプレイ等で経験を積み重ねながら、実現に向けて準備に取り組めます。
2	保護者同士の交流が少なかった。	今年度はファミリー交流会のみで、茶話会は開催しませんでした。参加者や職員の勤務上の都合等、調整が難しいことが現状の課題です。また、交流の必要性についての考えの違いも感じられています。	交流の目的を明確にし、参加者が興味を持つテーマを設定したいと考えています。一方で、課題やテーマにとらわれず、ゆっくりとお茶を飲みおしゃべりをする…機会も設けたいと思っております。